

85%が「仕事減少」、77%が「影響あり」と実感 仕事続ける鍵は条件変更とスキルアップ

新型コロナウイルスのフリーランスへの影響 実態調査を実施

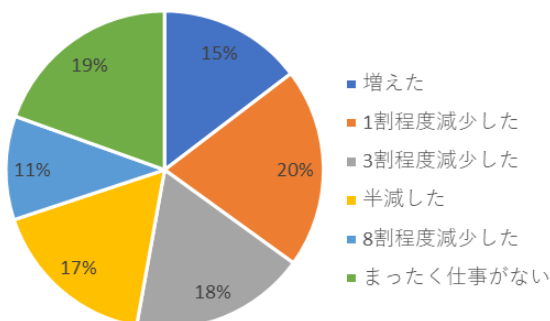
厳しい状況でも営業強化、スキルの幅拡大、専門性の向上が仕事につながり“収入増”の人材も

フリーランスのエンジニアやコンサルタント向けプロジェクト案件紹介事業などをおこなう INTLOOP 株式会社（よみ：イントループ 本社：東京都港区 代表取締役：林 博文、以下当社）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のフリーランス人材の仕事への影響の実態を明らかにするため、当社のフリーランス人材向け案件紹介サービス『High Performer（ハイパフォーマー）』と『Tech Stock（テックストック）』に登録する2,922名を対象に、2020年3月31日（火）～4月2日（木）に「フリーランス人材への新型コロナウイルス感染症の影響アンケート」を実施しました。

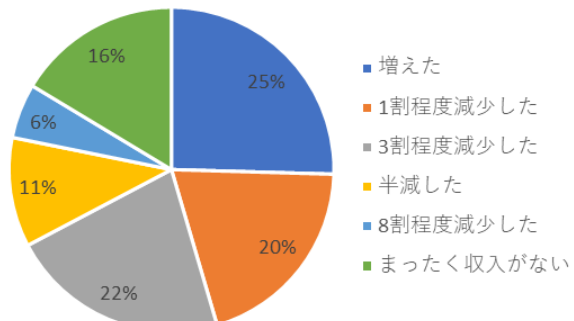
■85%が「仕事減少」、16%が「収入なし」。決定していた仕事の中止、契約内容の変更も

今回の調査の中で、「現在の仕事への新型コロナウイルス感染症の影響の有無」を聞いたところ、全体の77%のフリーランスが「影響がある」と回答しました。一番多いのは「仕事を行う環境が変わった（リモートワークなどの実施）」という回答で、次に「開始時期、契約期間、業務内容など仕事内容が変更となった」という回答が多く、「決定していた仕事が無くなった」という方も全体の12%いることが分かりました。（4ページ目資料①グラフ参照）

現在の仕事量について



現在の収入の状況



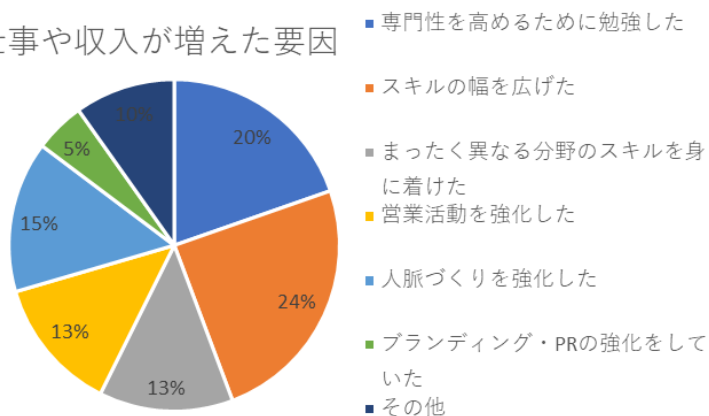
決定していた仕事が無くなった、仕事内容が変更となったと答えたフリーランスに、具体的な仕事量の変化を聞いたところ、85%の方が「仕事減少している」と回答。「まったく仕事がない」方も19%いることが分かりました。

また、契約金額が変更になったと答えた方に、現在の収入の状況を聞いたところ、75%の方が「収入が減少した」と回答。「まったく収入がない」という回答も16%あり、現在の社会の経済状況がフリーランス人材に大きく影響を与えていることが明らかになりました。

■「スキルの幅を広げること」で厳しい状況下でも仕事・収入増

一方で、本調査ではこのような状況下でも仕事量や収入が増えた方も一定数いることが分かりました。収入や仕事量が増えたフリーランスに案件の業種を尋ねたところ、人手不足と言われている「ソフトウェア・通信業界」の仕事が46.9%を占めていました。ソフトウェア・通信業界は他業界に比べるとリモートワークに移行しやすいこと、成長企業も多く、観光客減少などの影響を直接受けづらいことから、案件数・収入の面で今のところマイナスな影響がありません。

仕事や収入が増えた要因

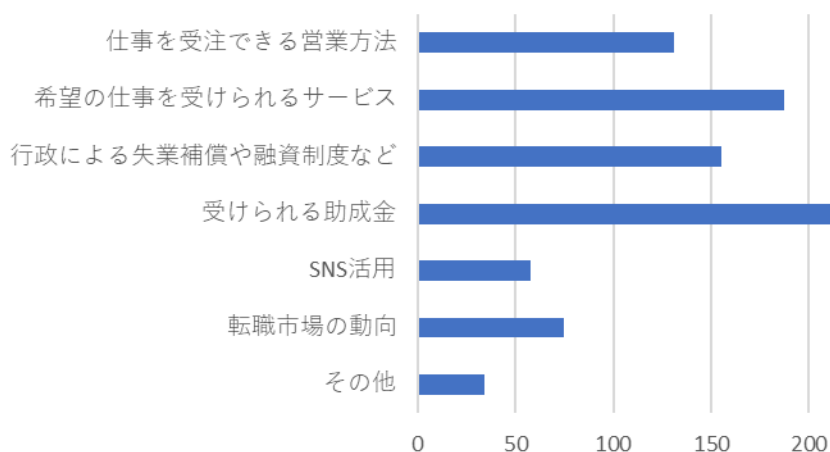


仕事量や収入が増えた方に、その要因を聞いたところ、「スキルの幅を広げられるような経験を積んでいたこと」という回答が24%と一番多くなり、次いで「専門性を高めるために勉強していた」との回答が20%となりました。フリーランスがこれからの仕事につなげていくためには、専門性を高めるだけでなく、“スキルの幅を広げる”という視点から、取り組む案件やキャリア形成を考えることが有効であることが分かります。

「新型コロナウイルス感染症の仕事への影響に対して、自分で行っている対策」を聞いたところ、「営業活動を強化した」という回答が全体の33%と最も多く、昨今の状況を受けてフリーランスの方は仕事の受注に向けて積極的に行動している様子が分かりました。

また、今知りたい情報について尋ねたところ、「フリーランス・法人で受けることが可能な助成金について」が全体の63.5%と最も多く、次いで「希望の仕事を受けられる案件紹介サービスについて」が55%、「行政による失業補償や融資制度、手続き方法について」が45%という結果となりました。現在の不安定な経済状況の中で、多くのフリーランスが自身のリスクに対応するための情報を求めていることが分かります。

現在知りたい情報について



フリーランスとして仕事を続けるには「条件の見直し」と「市場動向を見極めたスキルアップ」が鍵

(INTLOOP 株式会社 代表取締役 林博文)



現在の弊社のコロナウイルスの影響に関しまして、国内・外資大手企業の高単価のコンサルティングレイヤーの仕事は減っておりますが、SI 関連の仕事はさほど減っていない印象です。その影響が本アンケートにも現れているのではないのでしょうか。

このような厳しい状況下でもフリーランスとして働き続けるためには、リーマンショック時の経験からお伝えすると、探す案件の領域を広げたり、ある程度単価を下げることで、案件とのマッチングがしやすくなります。これまでの条件にこだわるのではなく、「フリーランスとして生き残ること」を第一に考えた選択と行動が必要となります。また、この機会に市場動向を見極めながら、自分のスキルを棚卸して、スキルアップを行うことも有効です。

当社では、このような状況の中でもフリーランス人材のニーズが高い領域もあると考えており、多様な働き方を実現できるよう積極的に案件を作っていきたいと考えています。

【調査概要】

タイトル： フリーランス人材への新型コロナウイルス感染症の影響アンケート

対 象： フリーランス人材向け案件紹介サービス『High Performer（ハイパフォーマー）』、『Tech Stock（テックストック）』に登録するフリーランスの方

期 間： 2020年3月31日(火)～2020年4月3日(金)

方 法： アンケートフォームを使用したオンライン調査

地 域： 東京都内

有効回答数： 340 件

実施機関： INTLOOP 株式会社

※本プレスリリース内容の転載にあたりましては、「フリーランス人材向け案件紹介サービスをおこなう INTLOOP 調べ」もしくは「INTLOOP 調べ」とご記載くださいますよう、お願い申し上げます。

【会社概要】

会社名： INTLOOP 株式会社(イントループ株式会社)

代表者： 代表取締役 林 博文

設 立： 2005 年 2 月

資本金： 5000 万円

所在地： 東京都港区赤坂 2-12-31 赤坂 GHS ビル 2F・5F

URL： <https://www.intloop.com/>

事 業： コンサルティング、プロフェッショナル人材支援、テクノロジーソリューション、デジタルトランスフォーメーション
人材紹介、海外進出・販路開拓支援

本プレスリリースに関するお問い合わせ

INTLOOP 株式会社 広報事務局 担当：市岡（携帯 070-1639-9778）

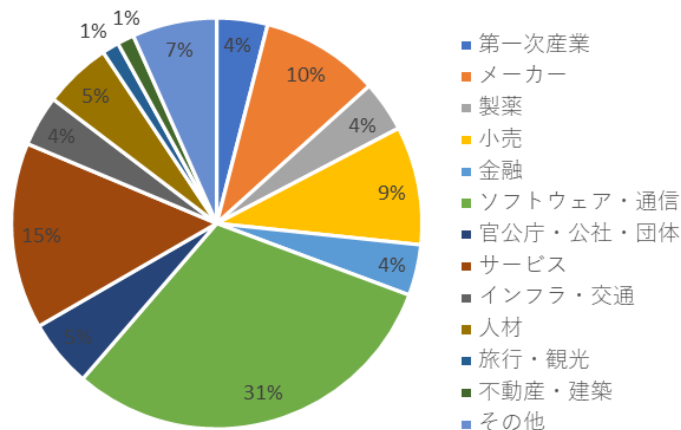
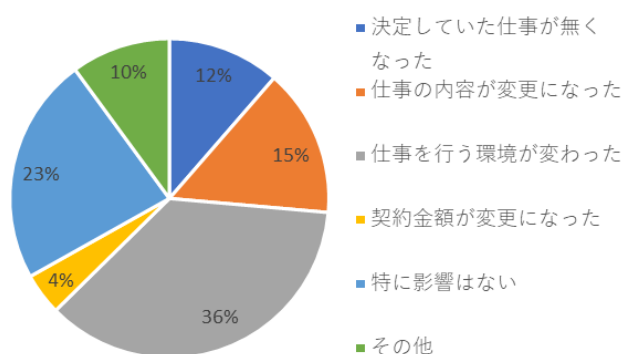
電話：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 メール：pr@netamoto.co.jp

【資料①】「フリーランス人材への新型コロナウイルス感染症の影響アンケート」結果の補足

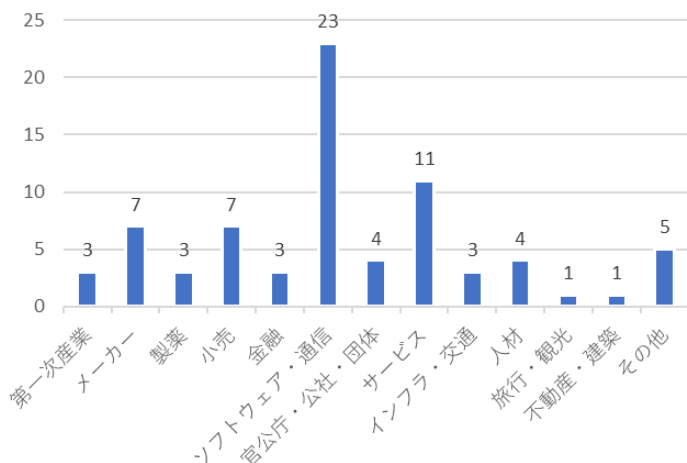
アンケートに回答した方の職種はコンサルタントが 56%（191 名）、エンジニアが 35%（118 名）、その他職種が 9 名（31 名）となりました。

現在の仕事に新型コロナウイルスの影響があるかを聞いたところ、「決定していた仕事が無くなった」、「仕事内容が変更になった」、「仕事を行う環境が変わった」などの回答があったほか、「特に影響がない」方も 2 割程度見られました。

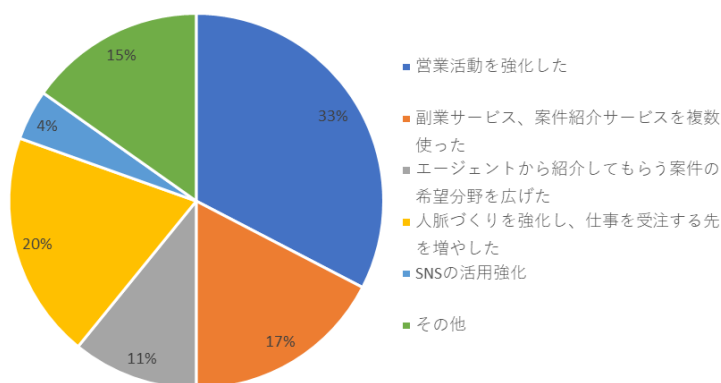
仕事への新型コロナウイルスの影響



また、「仕事や収入が増えた案件の業種」と「仕事や収入を増やすために行った行動」を聞いたところ、下図のような結果となりました。



仕事や収入を増やすために行ったこと



【資料②】INTLOOP 株式会社のフリーランス人材向け案件紹介サービスについて

■ High Performer（ハイパフォーマー）とは

当社が手掛けるサービス『High Performer（ハイパフォーマー）』は、フリーランスのコンサルタントやエンジニア向けのプロジェクトの非公開案件を含め常時 300 件以上紹介。フリーランスという選択肢がまだ当たり前ではなかった 2005 年から、フリーランスのコンサルタントへ大手企業を中心としたコンサルティング案件を紹介しています。

サービス詳細：<https://www.high-performer.jp/consultant/>

■ TECH STOCK（テックストック）とは

『TECH STOCK（テックストック）』は、フリーランスエンジニア向けのプロジェクト案件紹介サイトです。日本のエンジニアが適正に評価されていないという課題解決を目指し、キャリアカウンセリング、適正な報酬の案件紹介、スキルアップのための研修や留学などの福利厚生サービス、社会保険や税金関係のサポートなどを行っています。今後ますますニーズが高まるフリーランスのエンジニアのみなさまに、スキルもキャリアもストックしていただきたい、その思いをもって案件紹介サービスを運営しています。

サービス詳細：<https://tech-stock.com/>